

大学と地域自治体や企業とが“共に創る”をキーワードに緊密に連携し、研究プロジェクトを企画するとともに推進して石巻地域を活力ある街にすることを旨とし、研究活動しております。

## 【研究プロジェクト】

### 研究課題：石巻専修大学・東日本大震災デジタルアーカイブ制作のための調査研究

大震災の記録や証言、それから得られる教訓、さらに地域の復旧・復興への思いや提案などをデジタルアーカイブとし、石巻圏域の復旧・復興支援の一助に繋げる。多様な形式での一次データの集積と公開に向け、予備的調査研究を行う。

代表：理工学部 教授 綾 皓二郎  
 経営学部 教授 佐々木万亀夫  
 理工学部 講師 川村 暁

### 研究課題：東日本大震災の津波による自動車災害の発生状況調査

今回の震災では多くの車両が津波に流され、亡くなった方も多い。車両は最初浮きそして沈む。従来水上に落下した場合、出来るだけ早く脱出することが求められていた。しかし津波の場合、最初から車を捨てるのが良いのか、どのような状態で車両から脱出するのが最良なのか？また車両はどのようなアシストを運転者に与えればよいのかを考えたい。

代表：理工学部 教授 山本 憲一  
 理工学部 教授 川島 純一  
 理工学部 教授 若月 昇

### 研究課題：牡鹿半島に生息するニホンジカの北上ルートの解明

牡鹿半島に生息するニホンジカは、北上川を超え生息域を北へ広げている。甚大な農業被害を未然に防ぐため、シカの遺伝子解析を行い、北上する母集団の生息地を特定し、この母集団に狩猟圧を集中的に加えることにより、北上を阻止する。

代表：理工学部 教授 土屋 剛  
 理工学部 教授 根本 智行  
 理工学部 教授 柴田 清孝  
 大日本猟友会宮城県猟友会  
 石巻支部・支部長 永松 重信

### 研究課題：石巻ボランティア情報センターの設立・運営による石巻市復興支援の実証的研究

石巻市はその多くが壊滅的被害を受け、復旧復興にとってボランティア支援は不可欠となった。被災地とボランティアとのニーズを収集・整理・発信し、ボランティアの継続的な支援を可能にする情報センターの運営方法を実証研究する。

代表：経営学部 教授 栗山 規矩  
 経営学部 教授 大坂 良宏  
 GREENHEART (NPO)  
 教育ディレクター Allwright Gavin  
 石巻災害ボランティアセンター  
 コーディネーター 田畑 豊史  
 石巻専修大学 大学院研究生  
 伊藤 壽朗  
 経営学部 助教 舛井 道晴

### 研究課題：石巻地域における東日本大震災後の教育および教育支援に関する調査研究

大震災は小・中学校の教育現場にも大きな影響をもたらした。様々な角度から震災後の地域の教育の在り方を検討し、教育力の向上に貢献するための調査・研究を行う。

代表：理工学部 教授 根本 泉  
 理工学部 教授 山崎 省一  
 理工学部 教授 工藤すばる  
 理工学部 准教授 指方 研二  
 理工学部 特命教授 近藤 裕子

### 研究課題：換金作物による農地の塩害および重金属汚染の除去ならびに農家の収入確保に関する研究

津波により農地は塩害をこうむると共にヘドロによって汚染され、沿岸の農業は壊滅的打撃を受けた。植物栽培による環境修復の手法を用い、農地回復の実現可能性を探ると共に、新たな食材の生産基地としてその農地利用する可能性を見いだす。

代表：理工学部 教授 鈴木 均  
 理工学部 教授 福島美智子  
 自営業（専業農家） 小山 桂典

### 研究課題：東日本大震災の被災地石巻圏における復興初期のボランティア・ツーリズムの円滑な実施のための条件の研究

本震災でのボランティア参加者、団体等の性格・行動・動機、中間組織の役割、現地コミュニティへの影響等を把握することを試みる。阪神・淡路大震災など大規模な災害時に現れたボランティア活動との比較を念頭に置いて調査を進める。

代表：経営学部 准教授 丸岡 泰  
 経営学部 特命教授 大森信治郎  
 経営学部 助教 庄子 真岐

### 研究課題：有用海産微細藻類の大量培養法に関する応用研究

数種類の海産微細藻類は細胞内に有用な化学成分を効率よく蓄積する。それらの抽出物を利用したEPA生産、バイオ燃料生産に対する期待が高い。前年度の基礎的実験成果を通して実用化に向け、現実的環境条件の中で大量培養実験を試みる。

代表：理工学部 教授 佐々木 洋  
 理工学部 准教授 太田 尚志  
 スメープジャパン社長 原 芳道  
 スメープジャパン社員 平岡 正明

### 研究課題：生活活動量を基軸とした健康介入プログラムが石巻市高齢者の健康管理度と自己効力感に与える影響

石巻市と石巻専修大学による疾病予防と健康増進の連携事業としてISU健康支援プログラムを提供する。本プログラムは運動、スポーツにこだわらずに日常生活活動の活動量を増やすことに重点を置いた健康教室であり、石巻地域における生活習慣予防施策への貢献が期待される。

代表：理工学部 准教授 山内 武巳  
 東北大学大学院教育情報学研究所  
 教授 北村 勝朗  
 理工学部 客員教授 時光 一郎  
 石巻市健康部健康推進課 庄司 勝彦  
 石巻市健康部健康推進課 高橋 由美  
 石巻市健康部健康推進課 石川 和江  
 石巻市健康部健康推進課 遠藤美由貴

## 【サテライトキャンパス企画】

### テーマ：復興活動の関係者の状況報告と意見交換とを目的とした“共生プラザ”

目的が同じであっても活動場所や活動時期が異なることが多い。震災を乗り越えて直面した課題に対して、復興・再生・創設に向かって取り組む活動グループが気軽に現状を話し合い、それをどう解決すればよいのかを、石巻専修大学の教員などがコーディネートするワークショップにより、「実践的な活動の場」を提供する。地域住民の立場から望まれることに対する共同活動であります。したがって、皆様の希望によっては本プログラム以外のことも加えて参ります。なお、まちの若い方の勉強会になれば幸いです。

代表：大学開放センター長  
 理工学部 教授 若月 昇  
 経営学部 准教授 李 東勳  
 理工学部 客員教授 斎藤 方達  
 街づくりまんぼう(株) 西条 充敏  
 専修大学人間科学部教授 大矢根 淳  
 石巻専修大学同窓会会長 伊東 孝浩

### 研究課題：エンジョイ・スーパーサイエンス

高校生を対象に、“自ら学ぶことのたのしさ”を体験してもらうため、日常の高校の授業と異なる独自の教材に基づいた教育プログラムを実施する。

代表：理工学部 教授 丸岡 章  
 理工学部 教授 鈴木 均  
 理工学部 教授 佐々木 洋  
 理工学部 教授 相馬 弘年  
 経営学部 教授 阿部 康一  
 理工学部 准教授 輪田 直子

上記の研究プロジェクト・サテライトキャンパス企画は、石巻市と石巻専修大学との地域連携事業助成金によるものです。

連絡・お問合せ先 石巻専修大学共創研究センター（事務部事務課）まで  
 〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1番地  
 TEL：0225-22-7711（代表） FAX：0225-22-7710 kaiho@isenshu-u.ac.jp